

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事件事例
2. 体験した事例の名称	現場到着時、取り出そうとしたバッグと一緒に、積載されていたボールが落下して脛を受傷
3. 体験した事例の中心的要素	資器材（簡易式救助器具）バッグを車両ボックスから取り出そうとした際、バッグの肩掛けにボールが引掛って落下し、右目脛部を受傷した。
4. 体験した事例の原因・理由	資器材の積載方法に問題があり、かつ交替時などに積載状況を確実に点検をしていなかった事や、他人に協力を求めずに一人で作業を遂行しようとした事。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 18 年 3 月 19 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：一般住宅の屋外
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	切り・こすれ、
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[54]歳、勤続年数[21]年、現場経験年数[21]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	危険排除指令（屋外階段に設置の塩化ビニル製の屋根が強風により剥離危険あり）により出場	
経過2	A	現場到着後、中隊長に下命され簡易救助資器材バッグをポンプ車左上部のボックスから取り出そうとした。	
経過3	A	バッグの肩バンド部分にボックス内に収容されていたバール（長さ93センチメートル）が引掛りAの右顔面に落下。右目瞼部を受傷した。	
経過4	A	作業を中止し同じ隊の隊員に応急手当を受ける。	
経過5	A	車内待機	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ

・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ
---------------------	-----

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

注意力の欠如による事故で、大事には至らなかったものの、ひとつ間違えば重大な事故に至った可能性があり、同種事故再発防止のために安全確実な消防活動を念頭に置き、安全管理に対する教養を実施した。

○装備・資機材の対策について

資器材をポンプ車に積載する場合は、重い資器材は下の取り出しやすい場所に積載する。

○活動環境の対策について

交替時点検の際、落下事故が発生しないように積載状況を確実に把握する。

○指揮・情報伝達の対策について

作業が一人で困難な場合、他の隊員に協力を求めるなどチームワークを活用した活動に配慮する。

受傷状況図

